

わたしたちは、地域の人々のつながりを大切に、一人ひとりの「ふだんの 暮らしの しあわせ」をともに追求します

たけとよのふくし

第148号

令和2年2月15日号



【写真】おとなりカフェ「いこいこ笠松」の様子



紙面紹介

- 2 ここちゃんリポート
・地域づくり講演会
・福祉映画会
- 3 ・ボランティア交流会
・多賀授産所「武豊ライオンズクラブ ラーメン振舞い」
- 4 ・町内事業所紹介
・認知症を知る講演会
- 5 武豊町社会福祉協議会事業紹介
～カフェに行ってみませんか?～
- 6 ◆「地域の宝物」紹介
◆地域包括支援センターコーナー
- 7 車いす・福祉車両の貸出し・行事予定・寄付御礼
- 8 第34回武豊町福祉まつりについて

<http://www.taketoyo-shakyo.com> 武豊社協 検索

ここちゃん 武豊町社会福祉協議会
マスコットキャラクター

この広報誌は、みなさまから寄せられた社会福祉協議会費を財源に作成しています。



ここちゃんレポート

健康で長生きするには社会参加が必須 「地域づくり講演会」を開催

ご近所同士の支え合いや、介護予防に取り組むまちづくりを考える「地域づくり講演会」が12月21日(土)に中央公民館で開かれ、約120名が参加しました。「ご近所福祉クリエイター」として全国で講演と執筆活動を行っている酒井保さんの講演や、武豊町内で活動する4団体の取り組み紹介が行われました。

酒井保さんは「団塊の世代が75歳を超えて後期高齢者となり、国民の3人に1人が65歳以上となる『2025年問題』は、将来高齢者を支える皆さんの子どもや孫の問題」と話を切り出しました。同氏は「役割を持っている人がうつになる確率は、役割を持たない人の約7分の1になる」や「高齢による運動機能低下が、人や地域とのつながりといった社会性の低下をもたらすのではなく、社会性が低下することによって、運動機能が低下する」などの例を挙げ、「健康で、子や孫に負担をかけないためには、社会参加が必須である」と説明しました。

4団体の取り組み紹介後には「みなさんの活動により、地域の高齢者が安心して生活できる。このようなお互いの取り組みを評価し共有する場を、地域住民、専門職、行政、社協などが一緒に持つことが大事」と締めくくりました。



活動紹介を行った4団体

武豊町憩いのサロン富貴市場会場

日時：毎月第3水曜日
13:30～15:30

場所：富貴市場公民館
内容：健康体操、茶話会、
月毎のイベント

利用できる方：65歳以上で会場に
自分で来ることができる方



鹿狩池公園朝の体操会

日時：毎日(雨天は休み)
6:30～7:00頃

場所：鹿狩池公園
内容：ラジオ体操
ストレッチ

利用できる方：どなたでも
参加可能



たけとよくらし応援隊

内容：日常生活のちょっとした
困りごとのお手伝い

利用できる方：一人暮らしの
高齢者や障がい者
など



見守り隊

内容：ボランティア(2名)が、月に
1回自宅を訪問し話を聴く

利用できる方：外出や他者と交流
する機会の少ない
高齢者など



「差別」、「働くこと」について一緒に考える機会に 映画「あん」を上映しました。

「『ともに支え合うまちづくり』をすすめるきっかけづくり」を目的として、赤い羽根共同募金を財源とした福祉映画会を11月23日(土・祝)に中央公民館で行いました。

今回は、ハンセン病の元患者(樹木希林)と、中年のどら焼き職人(永瀬正敏)の交わりを描いた作品「あん」を上映し約250名の方が鑑賞されました。

「ハンセン病」という重いテーマを扱った作品ですが、「知らないことが差別につながると思った」「働けない人にとって、働く願望って強いことがよく理解できた」といった意見をいただくなど、様々なことを一緒に考える機会になりました。

来年度も予定しています。ぜひご参加ください。



©2015 映画「あん」製作委員会 / COMME DES CINEMAS / TWENTY TWENTY VISION / ZDF-ARTE

第24回ボランティア交流会を開催しました!

12月1日(日) 第24回武豊町ボランティア交流会が開催されました。

ボランティア交流会は、武豊町で活動をしているボランティアの方々が、交流し・つながりを深めることを目的とし、毎年開催しています。

今年度は、“この町で共に暮らすために～ひとり一人ができることを考える～”という思いを込めて、“すべての子どもに居場所がある学校”を目指している実在の小学校のドキュメンタリー映画『みんなの学校』を上映し、感想を含めた意見交換を行いました。

意見を一部を抜粋し、ご紹介します。

- 校長先生が、児童のみならず教員も見守り、育てていると思った。
- 決まりごとの軸がしっかりしていて、しかも細かなことがなく、子どもにもわかりやすい。
- 自分の気持ちをうまく伝えることのできない子はどこにでもいる。学校のみでなく、地域住民ともに協力し合える環境の大切さを感じた。

交流会の開催を重ねる度に、武豊町でボランティア活動をしていても、自分達以外がどんな活動をしているか知らなかった方々同士がつながっていくこと、自分達の活動を通して地域の課題等にも目を向け、自分達が何ができるのか?を考えてもらえるようになってきました。

このボランティア交流会は、ボランティア活動している方だけでなく、どなたでも参加できます。ぜひ来年度は参加してみてください。興味のある方はボランティアセンターまでお問合せください。



■お問合せ先

武豊町社会福祉協議会ボランティアセンター
電話番号 73-3104 FAX 73-8377
アドレス info@taketoyo-shakyo.com

武豊ライオンズクラブの皆さんのラーメン振舞い in 多賀授産所

昨年の12月10日(火)、ライオンズクラブの皆さんが多賀授産所でラーメンを振舞ってくださいました。この振舞いは毎年、授産所の利用者さんが楽しみにしている行事です。

出来たてのラーメンを食べられるよう、授産所の玄関にキッチンを構え、手早く数十人分のラーメンを作ってくださいました。授産所の利用者さんは熱々のラーメンをいただくと、自然と表情がほころび、口々に「美味しいね」と言っていました。お替わり分も準備してくださり、お腹も心も満たしていただきました。

ライオンズクラブの皆さんの温かいお心遣いと日頃のご支援に心から感謝いたします。





ここちゃんレポート

「多賀授産所」へ行ってきました!

「多賀授産所」は、「障がいがあるからできないのではなく、障がいがあっても支援があれば、できる可能性は広がる」と考え、花の苗、せんべい、マットなどの授産製品の製造販売や下請作業、創作活動などを利用者と共に取り組む支援を行っています。また、地域との交流を深めながら、自立と社会参加を目指している事業所です。

主な取り組み事業は、「生活介護事業」「就労継続支援B型事業」ですが、それに加え「たがフェスタ・たが芸術祭のイベント開催」「町内外のバザーイベントへの参加」といった地域へ向けた活動にも積極的に取り組まれています。

取材時、「生活介護事業」では福祉まつりの出店に向けて、マット・小物づくり等授産品の製作販売やデイジーの鉢上げをされていました。「就労継続支援B型事業」ではせんべいの製造や下請け会社から依頼された銅線の剥離作業・DM便の封入作業をされていました。知識や技術の向上を目標に、利用者の個性に合わせた作業を行われていました。

管理者の小林さんは、「利用者一人一人と向き合いながら仕事していくのは、とても楽しいです。障がいがある方のおつきあいは、支援する側、される側ではなくお互いの相互理解によって成り立ちます。障がい理解を考えることは、人と人との理解を考えることと同じです。相互理解はすべての人に当てはまります。

障がい者のことを中心に相互理解が進み、武豊町が“すべての人にとって住みやすい町”になってくれればと思っています。」とお話されていました。



マットの製作作業



デイジーの鉢上げ作業



銅線の剥離作業

〈生活介護〉

介護を必要とする障がいがある方に、施設等にて、排泄・食事の介護をするとともに創作活動や生産活動を行います。

〈就労継続支援B型〉

企業などで就労することが難しい方に、働きながら就労訓練を行うため、生産活動や就労に必要な知識及び能力向上のために必要な訓練を行います。

■問合せ先

武豊町障害福祉サービスセンター
多賀授産所

〒470-2361

住所：武豊町字多賀4丁目1番地

TEL：0569-73-5821

認知症を知る講演会 ～“ケチ”と“タダ”は仲が良い!?～

認知症の人、特にアルツハイマー型認知症の人の介護に直面したとき、多くの人が「どのように対応したらいいですか」という課題にぶつかります。ご本人の認知機能が低下すると、生活の様々な場面で“行えないこと”が増えていきます。介護者は何とかご本人の行動をコントロールしようと試みますが、上手いかず、お互いに感情がぶつかりあうことが少なくないからです。

1月18日(土)に開催した「認知症を知る講演会(講師/日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員・渡辺哲雄氏)」では“認知症ストーリー・ケア”という対話方法をご紹介します。「母は儉約家でした。いわゆる“ケチ”な性格です。そんな母に給食サービスを勧めました『“タダ(無料)”で給食がとれるサービスがあるから』と。実際にはタダではありません。しかし、ケちな母は“タダ”という言葉に反応したんです。“ケチ”と“タダ”は仲が良いですね、それから母は拒否することなく給食サービスを続けています」(渡辺氏)。

認知症の母を介護した講師自身の体験談をもとに、発症から施設入所に至るまでを楽しくお話いただいた今回の講演会。紹介されたいくつかのエピソードは講師の著書「認知症ストーリー・ケア(中日新聞社)」におさめられています。



講演会の様子(渡辺哲雄氏/写真中央)

認知症に関する相談は
「地域包括支援センター」へ
電話：74-3305



武豊町社会福祉協議会事業紹介

カフェに行ってみませんか？

武豊町社会福祉協議会では、地域の人々のつながりを大切にし、一人ひとりの「ふだんの 暮らしの しあわせ」を地域の皆様と一緒に考え、また、地域でみんなが支え合える「福祉でまちづくり」を進めるために様々な活動を応援しています。

下記のカフェは、「気軽に地域の方が集まり、情報交換ができる異世代交流の場」や「リフレッシュできる場」「カフェから社会とのつながりを持てる場」など、目的や内容はそれぞれに違いますが、すべて地域のみなさまから「こんな場所があるといいなあ」という声からできたカフェです。

ぜひみなさん、「自分の癒しカフェ」を見つけてみませんか？

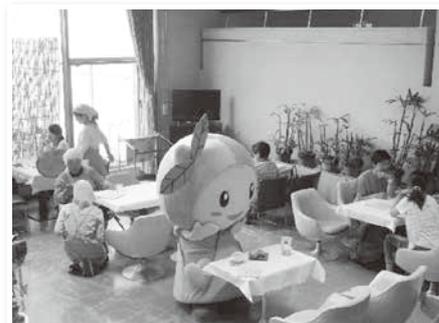
| | 名 称 | 場 所 | 日 時 | 内 容 | 対象者 |
|---|--------------------|------------------|--------------------------------|---|-----|
| 1 | おとなりカフェ 馬場 | よかった工房 デイサービス | 第2日曜日(変更あり) 10時～12時 | お菓子作り・茶話会 | 誰でも |
| 2 | おとなりカフェ いこいこ笠松 | 笠松公民館 | 第2・4月曜日 10時～15時 | 健康体操・ふまねつと運動・ カラオケ・茶話会 | 誰でも |
| 3 | おとなりカフェ おいであ三井家 | 上ヶ 三井家住宅 | 第2日曜日 10時～12時 | 健康体操・昔の子ども遊び・ 役立つ防止豆知識・茶話会 | 誰でも |
| 4 | おとなりカフェ よし子さん家 | 六貫山3-79 | 第4日曜日(変更あり) 10時～12時 | カードゲーム・茶話会 バザー | 誰でも |
| 5 | リフレッシュカフェ | 武豊町 中央公民館 | 第2金曜日(変更あり) 10時15分～12時30分 | 気軽な相談の場 悩みごとの相談 情報共有 おしゃべりなどしてリフレッシュ できます | 誰でも |
| 6 | ほっとCafé | 武豊町 中央公民館 | 毎週木・土曜日(変更あり) 10時30分～14時30分 | 喫茶 パンや飲み物の提供、ランチもあり 特別支援学校・特別支援級生徒・ 障害福祉サービス事業所等の職場 体験の場 | 誰でも |



おいであ三井家の様子



おとなりカフェ馬場の様子



ほっとCaféの様子

地域の宝物紹介

第九回

空き家を多世代交流の場 「おとなりカフェ よし子さん家」

このコーナーでは毎回「地域の宝物」と題して、地域福祉を支える居場所やサービス、人物等の紹介をしています。



「おとなりカフェ」は、町内に4か所ある、住民が主体的に運営する多世代交流の場です。

その一つである「よし子さん家」は、空き家を活用し、令和元年7月より月1回開催しています。

この家主より、場所提供の申し出をいただき、地域住民や民生児童委員の方々と「何ができるか」話し合いを重ね、オープンまでの準備をしてきました。

参加者は約30名、内容はおしゃべりがメインですが、カードゲームやバザーなども行っています。

参加者の大嶋宣行さん(90)は、「色々な人と話ができて、楽しいひとときを過ごしています。」と話していました。

また、ボランティアの佐藤敬子さん(67)は「一軒家は、憩いのサロンの行われている公民館などとまた違う雰囲気。家庭的で、和気あいあいとした空気をみんなで一緒に作っていききたい」と意気込みを語りました。



社会福祉協議会では、地域でボランティア活動を行う人を応援しています。「何かボランティアしてみたい」「どんな活動があるの」などボランティアに関する相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

連絡先：武豊町社会福祉協議会
生活支援コーディネーター
石野 靖



よし子さん家

開催日時：毎月第4日曜日

10:00～12:00

(曜日が変更する場合あり)

場 所：六貫山3-79

参加費：100円(お茶・菓子あり)

あなたも若々しく!健康寿命を延ばしてみませんか?

武豊町地域包括支援センターではさまざまな介護予防事業を行っており、その代表的なものに憩いのサロンがあります。

憩いのサロンは、健康寿命の延伸につながる“通いの場”。地域の高齢者が歩いて公民館等へ出かけていきます。会場では体を動かしたり、お話をしたりして、それぞれが人と交わることで“役割”をもつことができます。

先日、“通いの場”の具体的な効果を、多くの住民のみなさんにお伝えするため「一歩先行く健康づくり講座(講師：星城大学・竹田教授)」を開催しました。講座の中では、参加者自身が「友達の話し相手になる」「声をかけあって参加する」といった“役割”を持つことでも、健康寿命の延伸に効果があると紹介されました。

受講者からは、「大変勉強になった。今後も社会参加に加え、何か役割をもてるようにしたい」との感想が寄せられていました。

この講座は今年の夏にも開催予定です。

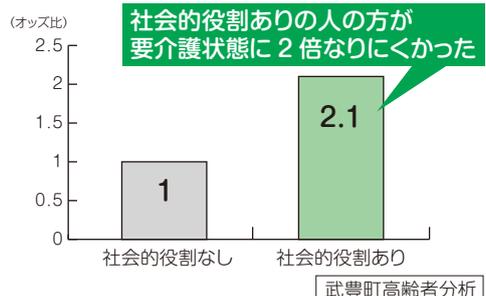
ご興味のある方は、ぜひ健康寿命延伸のコツを聞きにきてください。

【問合せ先】武豊町地域包括支援センター(担当：木伏・根寄)
TEL: 74-3305(平日8:30～17:15)



11月26日(火) 中央公民館
視聴覚室で開催した様子☆

5年後の要介護状態へのなりにくさ



車いすの貸出し

一時的に車いすが必要なときにご利用ください

通院や外出の際、一時的に車いすの利用が必要になった場合に社会福祉協議会が保有する車いすを短期間に限りお貸しします。

対象 町内に在住の方

貸出期間 15日以内

保証金 1,000円

※保証金は返却の際に全額返金



福祉車両の貸出し

車いすに乗ったまま乗降できるスロープ付きの車両です。病院への通院やお出かけが気軽にできる便利な車です。

対象 町内に在住で車いす利用をする方及び介助する方

貸出期間 原則1日

※旅行の場合は3日以内で貸出可能です。

貸出上限 原則週1回

利用料 無料

※ただし、消費した燃料を補充して返却をしてください。

貸出車両

スズキ エブリィ (2台)
(車いす利用者、運転手含め最大4名乗車)
スズキ スペース
(車いす利用者、運転手含め最大3名乗車)

手続方法

運転者の免許証を持参の上、社会福祉協議会窓口へお越しください。利用予約は、電話でも可能です。予約は貸出日の2か月前の同日から可能です。

注意

利用中の事故等に伴う損害賠償、修理の費用は、ご利用者様負担となります。



寄付御礼

令和元年12月23日～令和2年1月31日(敬称略)

社会福祉のためにたくさんの「まごころ」が寄せられました。深くお礼申し上げます。

皆様からいただいた寄付金・寄贈品は、寄付された方の希望される用途を尊重させていただきますとともに、社会福祉のため有効に活用させていただきます。

| 寄 付 者 | 寄付金・寄贈品 |
|----------------|--------------|
| 匿名 | 23,400円 |
| 有限会社 丸満 服部善満 | 50,000円 |
| 窓口募金 | 1,000円 |
| 匿名 | うどん・そうめん 13袋 |
| 匿名 | 5,000円 |
| JAあいち知多女性部武豊地域 | 30,000円 |

武豊町社会福祉協議会行事等の予定

2月

2020 FEBRUARY

- 15日 引きこもり・不登校の居場所
ほっとCafé (20・22・27日)
- 16日 おもしろ工作教室
- 19日 ボランティア保険説明会
- 21日 介護者のつどい
- 22日 防災ボランティアコーディネーター養成講座
- 24日 市場サロン消費者被害予防啓発講座
おとなりカフェ よし子さん家
- 26日 知多南部3町福祉教育関係講師学習会

3月

2020 MARCH

- 5日 ほっとCafé (12・14・19・21・26日)
- 8日 第34回武豊町福祉まつり
おとなりカフェ おいであ三井家
- 9日 おとなりカフェ いこいこ笠松 (23日)
いきいき元気教室～食事編～
- 10日 ここちゃんサポート相談
(ひきこもり・不登校専門相談)
- 13日 リフレッシュカフェ
- 18日 理事会
- 21日 ひきこもり・不登校の居場所
災害ボランティアセンター設置運営訓練
母と子のつどい(母子福祉会)
- 22日 おとなりカフェ馬場
おとなりカフェ よし子さん家
- 26日 評議員会
- 27日 みどりサロン消費者被害予防啓発講座

4月

2020 APRIL

- 9日 ほっとCafé
- 10日 リフレッシュカフェ
- 12日 おとなりカフェ おいであ三井家
おとなりカフェ馬場
- 13日 おとなりカフェ いこいこ笠松
- 14日 ここちゃんサポート相談
(ひきこもり・不登校の専門相談)

第34回武豊町福祉まつり

日時 令和2年 3月8日(日) 9時15分～15時

※開会式典・顕彰式は9時15分～中央公民館 正面玄関で行われます。
※情報保障付いています。(手話通訳、要約筆記、ヒアリンググループ)
※各種コーナー・模擬店は9時30分からです。

会場 中央公民館

中央公民館 正面玄関イベント

9時15分～ 9時45分 開会式典・顕彰式
10時30分～12時30分 ボランティアサークル活動発表

衣浦小学校からシャトルバスで
来場して頂いた方に

《限定》の抽選会

を行います!!

運行時間 8:45～16:00
随時運行

福祉体験スタンプラリーに チャレンジ!!

武豊町で活動している障がいのある人やボランティアが
体験をサポートしてくれます!

下書いてある①～⑤の体験をチャレンジすると
プレゼントがもらえます!

時間 9時30分～15時

- ①手話体験
- ②点字体験
- ③発達障がいの擬似体験
- ④視覚障がい者ガイド体験
- ⑤吹きコマづくり体験



収集活動にご協力ください!

右に書いてあるものを10コ以上会場に持って来
ていただくとちょっとプレゼントがもらえます。

※右記持って来ていただいた物は、各種団体に送り活
用されています。



使用済み切手



書き損じはがき



ベルマーク



ペットボトルの
キャップ

その他、中央公民館には、模擬店やゲームなど
お楽しみイベントがいっぱいです!みなさんのご来場をお待ちしています!!

家で眠っている食品を寄付してください!

★福祉まつり会場(中央公民館1階総合受付)へお持ちください。少しでも構いません。

また、随時、社会福祉協議会窓口で受付しておりますので、ご連絡ください。【73-3104】

【フードバンク活動】とは、まだ食べられるにも関わらず捨てられる
運命の食品を企業や個人から無償でご提供いただき、生活困窮者等を
支援している団体、各種施設へ無償で配布する活動です。

この活動を行っている「セカンドハーベスト名古屋」との協定により、
武豊町社会福祉協議会でも生活に困窮している方へ、健康状態の維持
と生活の立て直しを図るため、食料品の提供を行っています。

【受け取れない食品】

賞味期限が明記されていない、賞味期限が1ヶ月を切っている、または切れている食
品や開封されている食品、生鮮食品、冷凍、冷蔵品、アルコール(みりん、料理酒は除
く)等 迷われる場合にはご連絡ください。

【寄付いただきたい食品】

- ・お米(特に不足しています)
- ・缶詰(肉、魚、野菜、果物など)
- ・乾物(パスタ、うどん、蕎麦など)
- ・レトルト食品(カップ麺・カレーなど)
- ・調味料(食用油、醤油、味噌、砂糖など)
- ・お菓子
- ・飲料(ペットボトル飲料、缶ジュースなど)